

平成 22 年度当初予算 施策別概要

553 港湾の整備

(主担当部：県土整備部)

55301 人の交流を支える港湾機能の充実・強化
(県土整備部)

55302 物流を支える港湾機能の充実・強化
(県土整備部)

< 施策の目的 >

(対象) 港湾利用者が

(意図) 物流・人流拠点や親水空間として利用しやすい港湾になっている

< 施策の数値目標 > 21 年度実績値は、1 月末現在で把握できる見込値を示しています。

施策目標項目(主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
入港船舶総トン数 (5 トン以上の船舶)	目標値	-	8,000 万トン (H18)	8,144 万トン (H19)	8,222 万トン (H20)	8,300 万トン (H21)
	実績値	7,861 万トン (H17)	7,681 万トン (H18)	7,839 万トン (H19)	7,798 万トン (H20)	

県内 20 港湾における 5 トン以上の船舶の入港した総トン数

県の取組目標項目(副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
人流を目的とする係留施設(公共)の延長	目標値	-	516m	926m	926m	926m
	実績値	516m	516m	516m	796m	
物流を目的とする係留施設(公共)の延長	目標値	-	37,927m	37,927m	37,927m	38,031m
	実績値	37,927m	37,927m	37,927m	37,866m	

< 進捗状況(現状と課題) >

- 三重県地域防災計画において、緊急物資等の備蓄・集散上の拠点として第 1 次拠点及び第 2 次拠点に指定された 8 港湾のうち、7 港湾において耐震強化岸壁の整備を完了していますが、残りの 1 港湾について耐震強化岸壁の整備を進めていく必要があります。
- 県内の港湾を取り巻く環境の変化に対応するため、産業を支える物流機能や港の交流機能などの充実強化が港湾に求められています。
- 四日市港は本県における唯一の特定重要港湾として、背後圏の産業を物流面から支えることが求められています。

< 平成 22 年度の取組方向 >

大規模地震における緊急物資等の備蓄・集散拠点を確保するため、耐震強化岸壁が未整備である尾鷲港において、早期完成をめざし整備を進めます。

津松阪港(大口地区)において、老朽化により港湾機能が低下している箇所の大規模修繕を行い機能回復をはかります。

鳥羽マリンタウン 21 事業の推進をはかります。

四日市港において、円滑な物流ルートを確保する臨港道路の整備や効率的なコンテナターミナルの運営など、物流機能の高度化・効率化に向けた取組を進めます。

<主な事業>

港湾改修事業【基本事業名：55301 人の交流を支える港湾機能の充実・強化】

(第8款 土木費 第4項 港湾費 2 港湾建設費)

予算額：(21) 787,000千円 (22) 900,300千円

(1,302,000千円 900,300千円 2月補正含みベース)

事業概要：尾鷲港の耐震強化岸壁、津松阪港（大口地区）の航路浚渫・岸壁老朽化対策、鳥羽港の整備を進めます。

公共土木施設維持管理費（港湾関係分）

【基本事業名：55301 人の交流を支える港湾機能の充実・強化】

(第8款 土木費 第1項 土木管理費 1 土木総務費)

予算額：(21) 141,963千円 (22) 184,148千円

(141,963千円 284,148千円 2月補正含みベース)

事業概要：県管理港湾19港において、港湾施設の機能が十分発揮できるよう施設の維持管理及び補修を行います。

四日市港振興事業【基本事業名：55302 物流を支える港湾機能の充実・強化】

(第8款 土木費 第4項 港湾費 3 港湾諸費)

予算額：(21) 2,001,086千円 (22) 2,118,177千円

事業概要：四日市港管理組合への負担金等（岸壁の改良、護岸の改修及び臨港道路の整備等）